



壊れた銃を持っている

陸奥守 × 肥前

R18▼

▼陸奥守×肥前 R18

▼作中設定により肥前が陸奥守に
優しいです

▼特命調査 文久土佐藩について、
ありとあらゆる解釈が許せる方向け

▼歴史認識に誤りがあったらすみません

▼ふんわり土佐弁(勉強中です)

2

1

2

C

持

2

モリテ潮／勝男

銃

た

れ





「肥前忠広と
それに関わる
刀剣の行動記録」

当本丸の肥前忠広は
異質である



比較対象は
審神者の持つ政府の
公式資料「刀帳」

対処次第で
今後戦力として
利用可能と
判断した

審神者は
政府権限での顯現により
生じた個体バグと仮定し

個体特徴の
記録と併せ
周囲の刀剣の行動も
記録し







運も悪くて
すぐ目標を失った
浪士になつた

あいつが感情任せに
脱藩した以上
当然だが

龍馬には
土佐を抜けるときに
初めて頼られた

あいつが身内から
刀を取り上げ
られた中で
つてでようやく
手に入れたのが
このおれだ

確かにしばらくして
縁あって勝海舟のところに
転がり込むわけだが

その勝に
同郷の岡田以蔵を
護衛にと紹介
したのが龍馬だったか

まあ間違つとらん
その後はどういた?

ここまで
主観的な正否は?

わしも肥前のが
言いゆう辺りは
まだ坂本の家に
おつたからのう…

聞く限り
うまくまとまっている
ようと思うが…

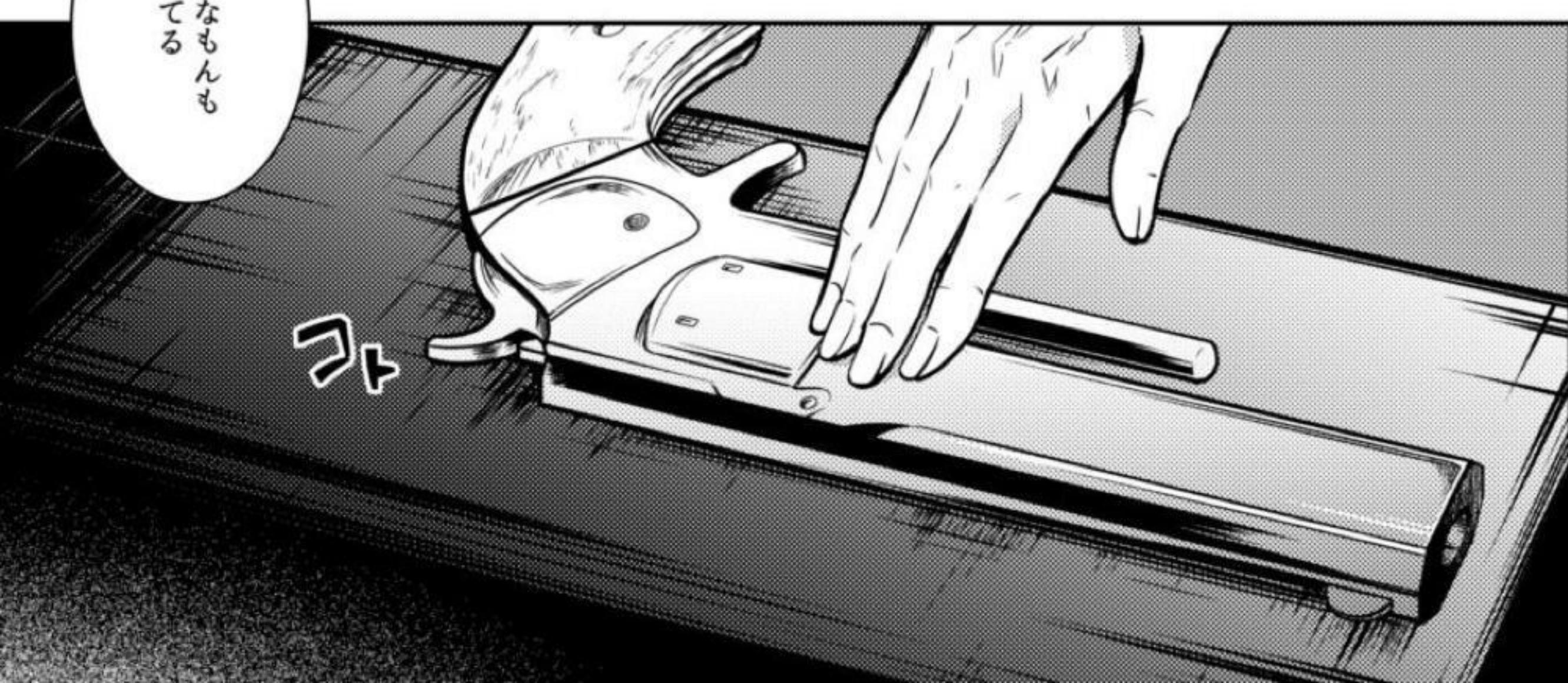
以蔵の
見る影もねえ
身持ちの崩しよう
に
龍馬が同情して…

そのときおれは
以蔵の手に
渡つたと思う

そのときおれは
以蔵の手に
渡つたと思う

そのときおれは
以蔵の手に
渡つたと思う









なあに
気にせん
ええがよ！

なにより
彼の歴史認識よりも
明瞭に分かる
他個体との
差異がある

なんでも
頼つたらえい

わしが主に頼んで
おんしと相部屋に
してもらつたき

言い得ぬ
不気味さだな

俺は
他個体の肥前を
見たことがあるが

彼は他の本丸の
報告と異なり
陸奥守吉行を
忌避しない

…おう



当本丸の肥前忠広
(以下、「甲」という。)には
歴史認識に大きな
齟齬があるものの

日常生活において
これといった
不具合は認められない

他本丸の
文久土佐藩での
調査記録を
確認しても

甲の言動に
取り立てて別個体との
差異があるようには
見受けられなかつた

甲の所持品のほかに
任務中に
高知城天守においても
酷似した銃を
発見している

甲の異常と
特徴ともいえる
壊れた銃と甲の
因果関係は
現在不明であるが

ただし
高知城天守で
発見された銃は

巡回軍との交戦後
その遺骸同様
ほどなくして
霧散したため
現在調査不可能である

甲について
異常の原因が
分からぬ以上
急変の可能性もある
目付役として
縁の深い陸奥守吉行
(以下、「乙」という。)
審神者に自ら
名乗り出た
旧知の間柄である
乙の干渉により
甲の問題に
わずかでも変化を
望むものもある







こここの審神者は
聞けば大概のことは
答えてくれる



なんで
龍馬の最期に
居合わせたのは



そいでおんし
主の答えを
聞いて
どう思うた?

おまえが
羨ましいなと思つた

がははははは
じやろー！
そ〜じやろ〜！

うるせえ
笑い事じや
ねえだろ：









おまえだつて
今は修行まで
行つて：



すっかり
英雄の佩刀
じやねえか

いやいや
隣に立てて
嬉しいにやあ
肥前の

調子狂う…



堂々と
してるのは：

悪くねえよ

肥前の





嫌
か?

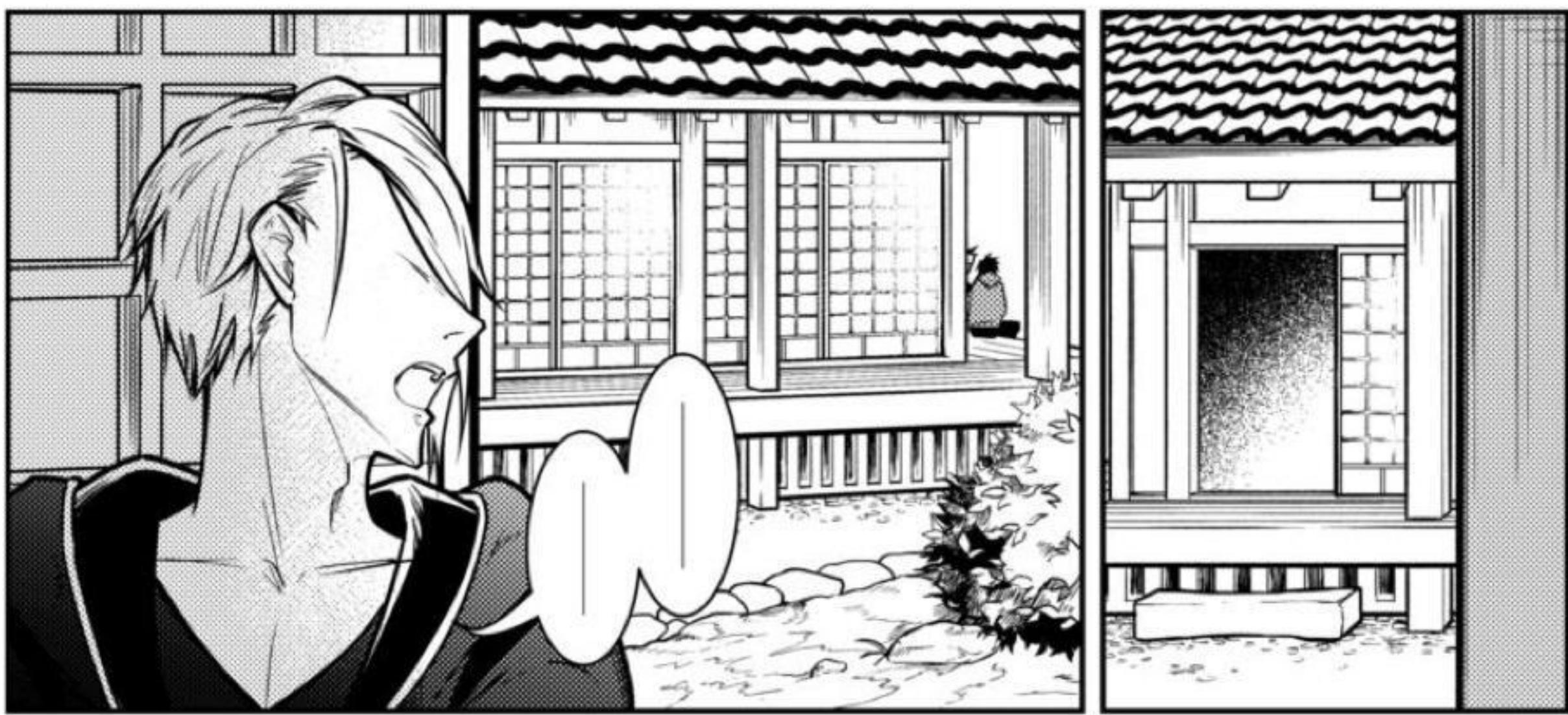


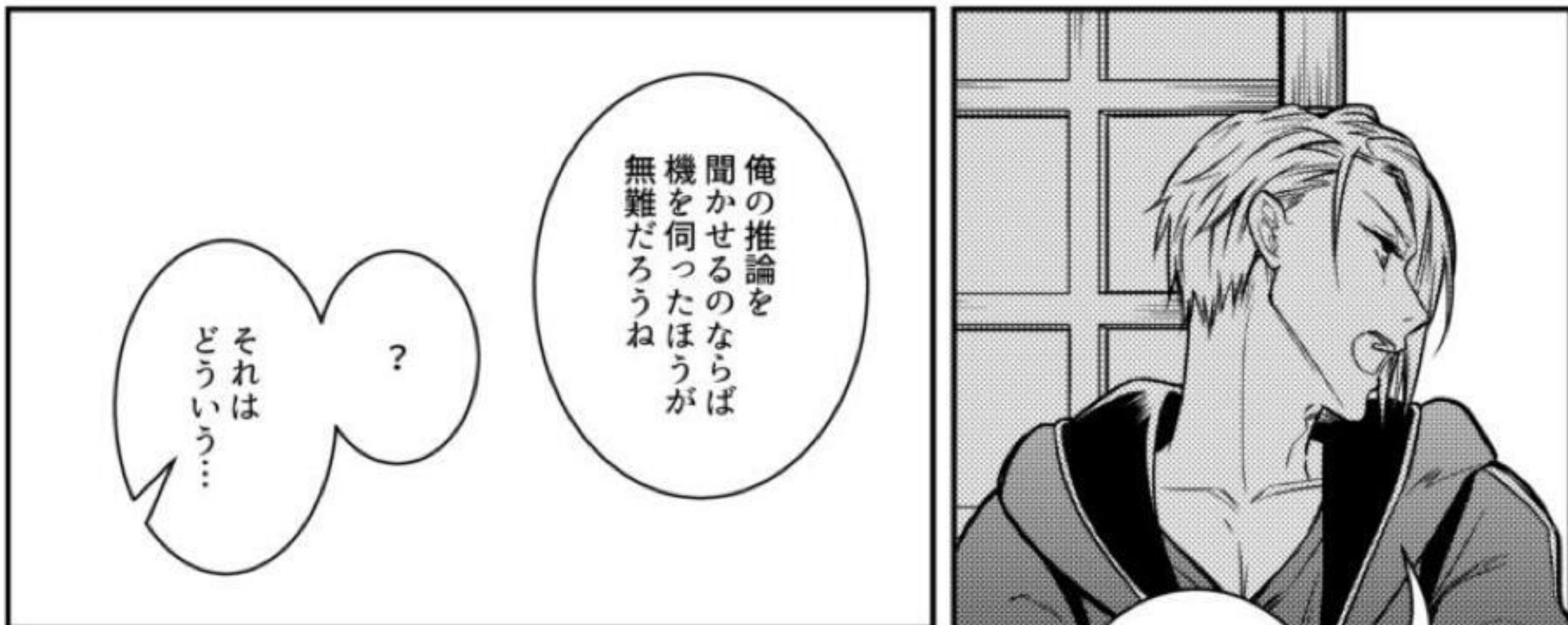
わかんねええ…

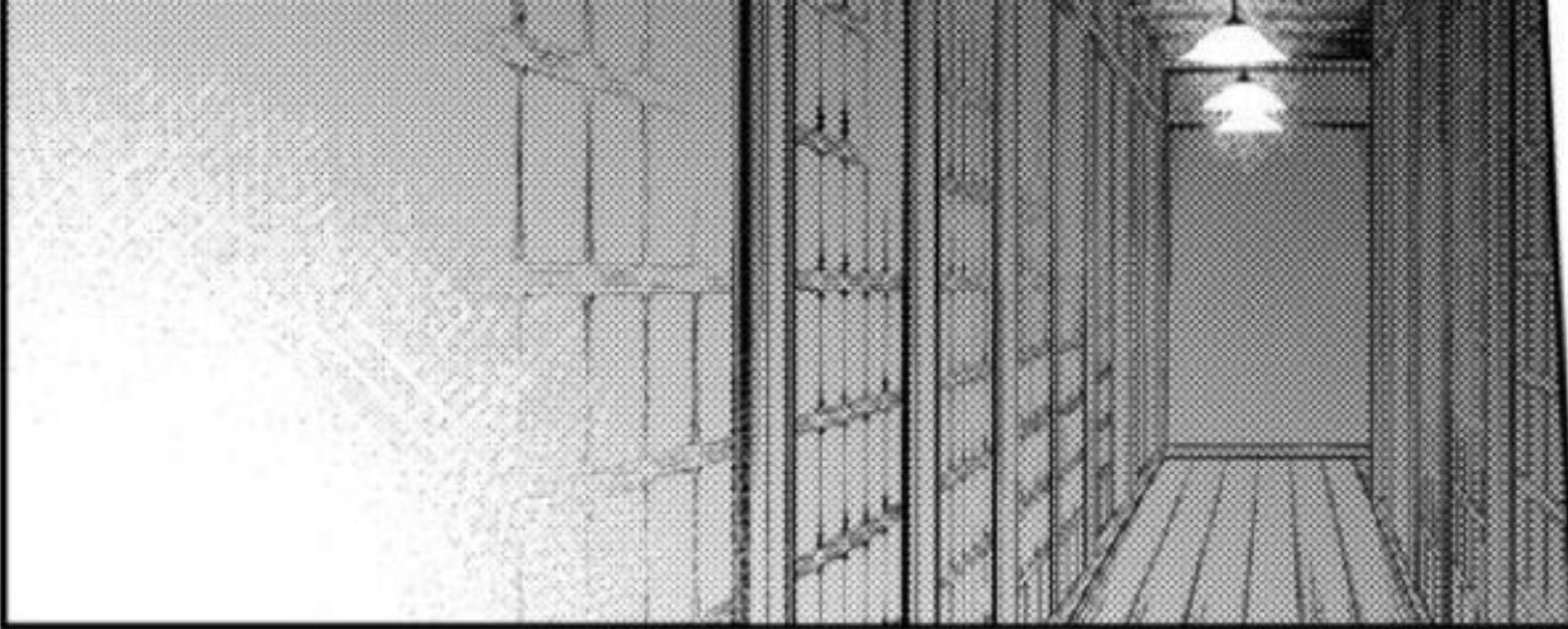
わかんねえよ…

もしわしが
おんしを独り占め
できたら
こんな顔は
誰にも見せんよ

へこいにやあ









預けたい人がいた…
とても…
とでも言えれば
ええんか？



言えんがよ…

肥前のがわしから
離れる気がしてな…

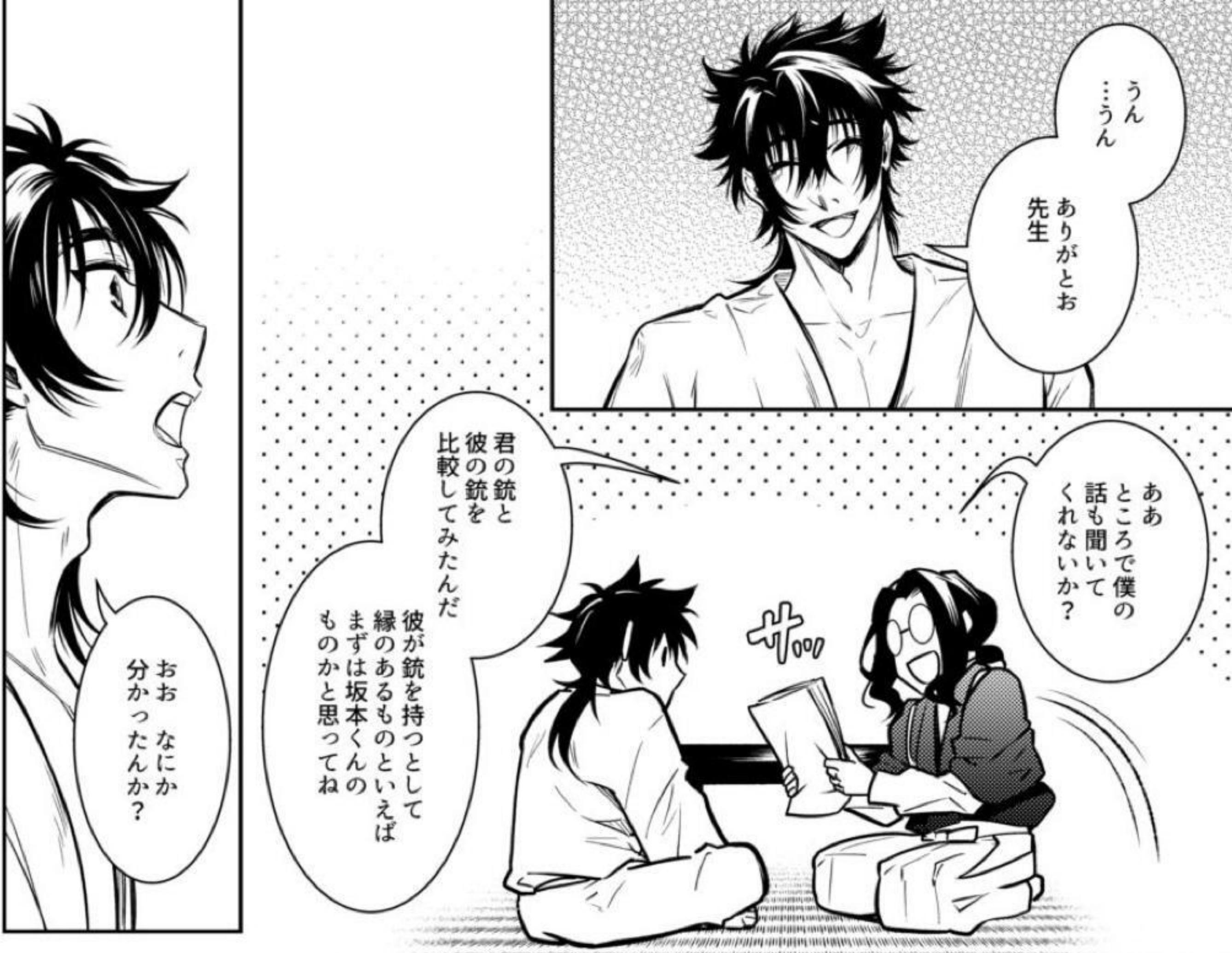
見透かされて



君も、僕も

僕らには
直視しがたい
問題だ

うん







これは調査終了後、
担当本丸に顕現することを
前提としているためである。

三、山姥切長義の証言から
監察官や先行調査員は
政府に戻る手段を持たず
現地に派遣される。



よつて肥前忠広は、
前回当本丸が参加しなかつた
文久土佐藩調査の折から、
現地にて待機していたと
推測される。

四、先行調査員として
現地にて合流した甲は、
高い練度の個体であつた。



五、当本丸が参加した文久土佐藩調査任務において、周回時敵大将個体の再生を確認している。



上記のうち事実から、当本丸が調査で現地に赴くまでの間

待機していた甲は幾度となく敵と交戦し、その成果として高い練度で我々の前に現れた可能性がある。

六、文久土佐藩調査で交戦した敵大将は壊れた銃を所持していた。



以下、根拠に乏しい推測

甲が持つ壊れた銃は我々が高知城天守にて発見した敵大将個体の持つ銃ではないか？

我々が天守にて発見した銃は敵大将初回撃破時に遺骸とほぼ同時に霧散したが

我々の任務参加以前に甲がそれを取得したのではないか？





ただし
甲の手元にある銃を
構成する靈力は
甲のそれと
同一であることが
判明している。

甲の得た銃が霧散せず
今まで保持している
理由を推測すると
可能性は多岐に及ぶ。



甲の記憶の混乱が
生じたのではないか
との推論も成立する。

また、体内に
遡行軍の遺骸の一部である
銃を取り込んだことで

もし甲が
壊れた銃を取得し
なんらかの理由から
己の逸話より
うまれたものと誤認し



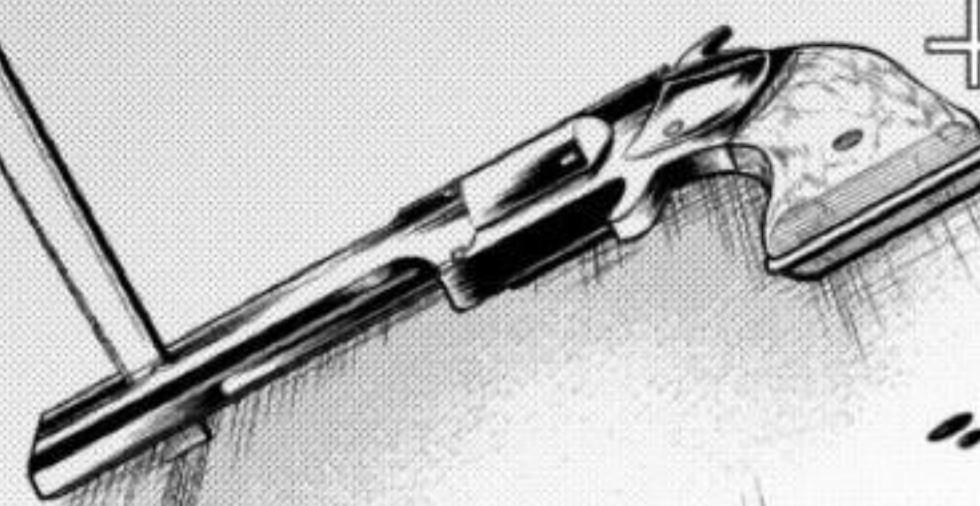
己の身に
取り込んでいれば
甲と銃との靈力の一
致は
ひとまず説明ができる。

甲が一連の行動に
出た理由は
不明であるが



壊れた銃の
隔離または破壊は
現在有効な
対応策と考え

これを提案する。





僕は思うんだ

薬研くんも言ったとおり
僕たちの顕現前の記憶は
脳の学習により
築かれるものではなく

人が語り
望んだものが
とりあげられる

人の手による
史伝の編纂
とも言える

そして
あの閉鎖世界において
観測者、編纂者たる
人は長い間いなかつた

改
歴史を狂わせるモノに
変された世界で
独り囮まれ
仮にあの天守の敵と
相対していたら

その間、彼が
どのように
過ごしていたのか
僕らは知ることが
できない

そんな彼の慰めは一体
どこにあつただろうか？

文久土佐藩の地で
合流した彼が
あの練度に至るまでに

どれだけの敵を
屠ったか？





わしは
肥前のに何を
してやれる?

先生の
本當なら



陸奥守くん

先生



あの頃

一回目の特命調査の頃
わしがまだ
弱かつたから…



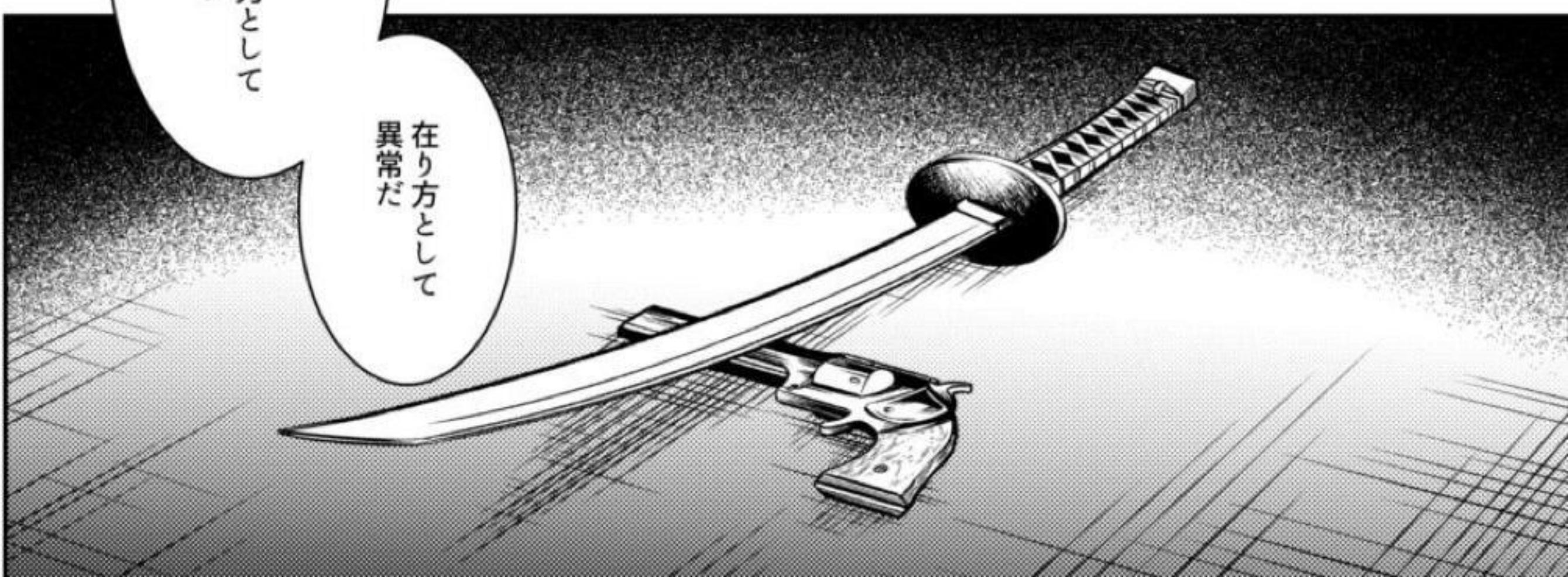


岡田以蔵が

天誅を下した
歴史を…かな



彼の刀としての
戦闘経験や
付喪神としての能力は
戦略的には
肯定的に捉えられる



だが
刀剣にとつて
なにが最善か

一種手入れと
思えばいい

彼が
本来負うべき
痛みだよ

…
…





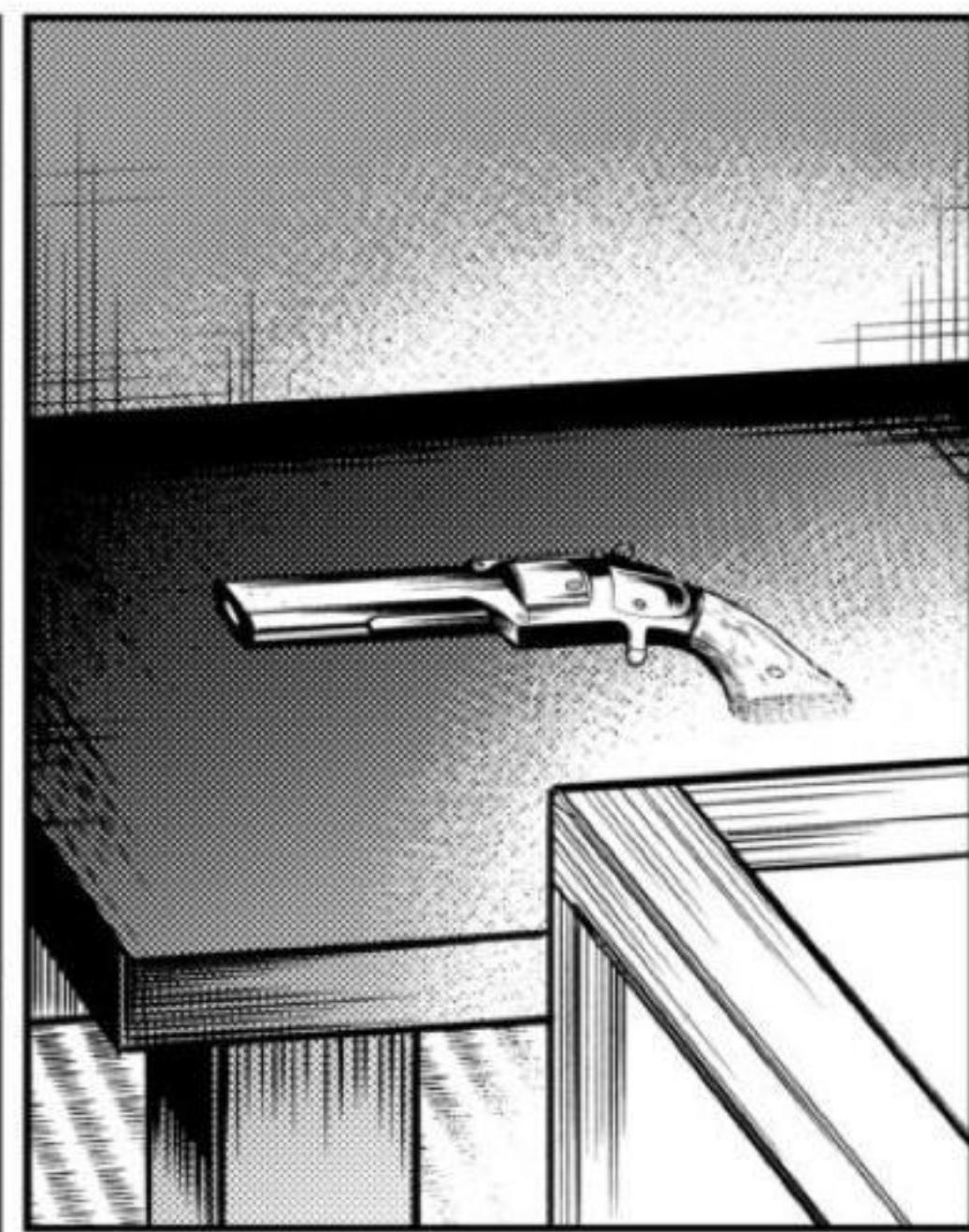
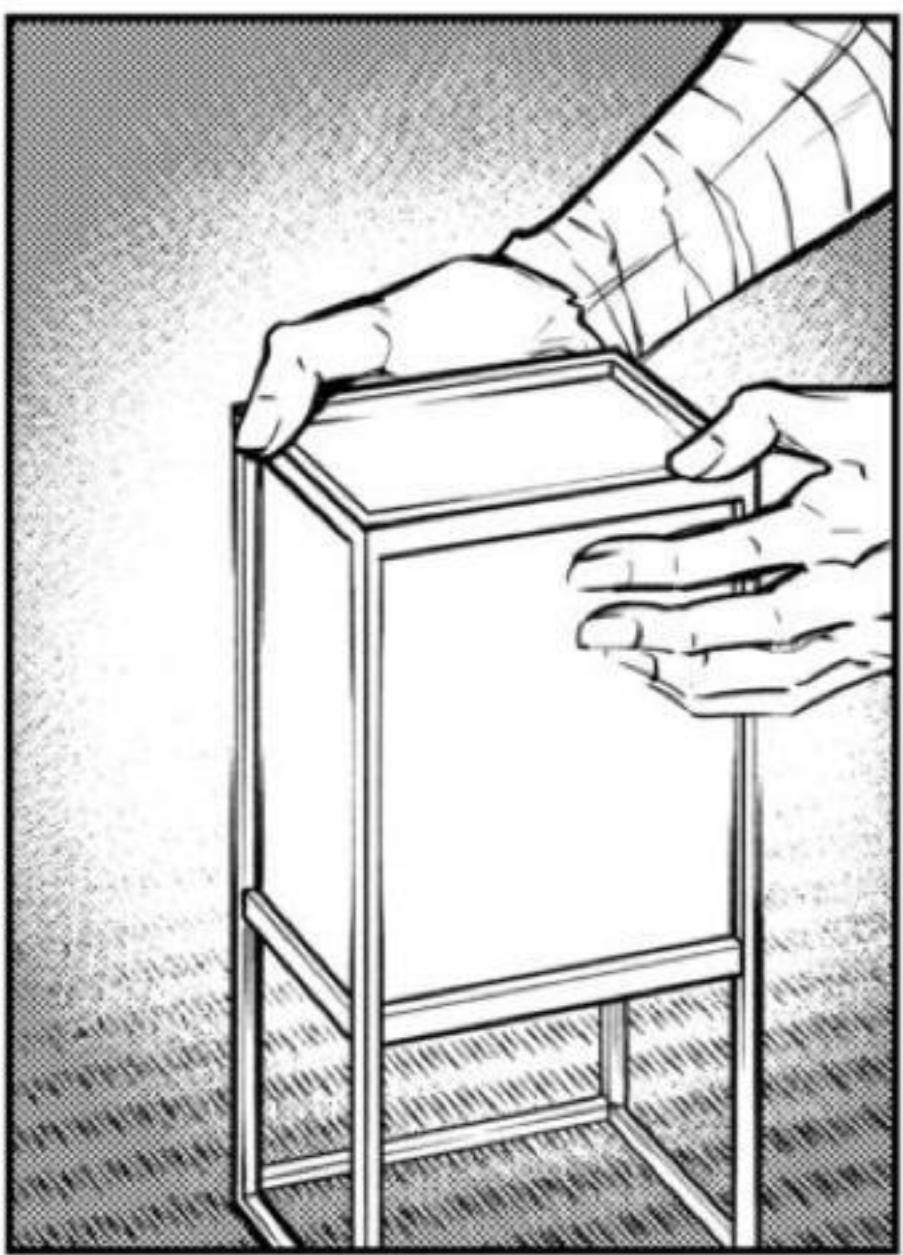


数日後、主から
一部隊編成変更の命令が
下された



こんなときには
わしはわしはと
わじやあじよう
へこいのう！







すまんのう
肥前の

わしには
言えん

おんしにおんしの
間違いを
思い知らせるための
出陣らあて

えつずいのう…





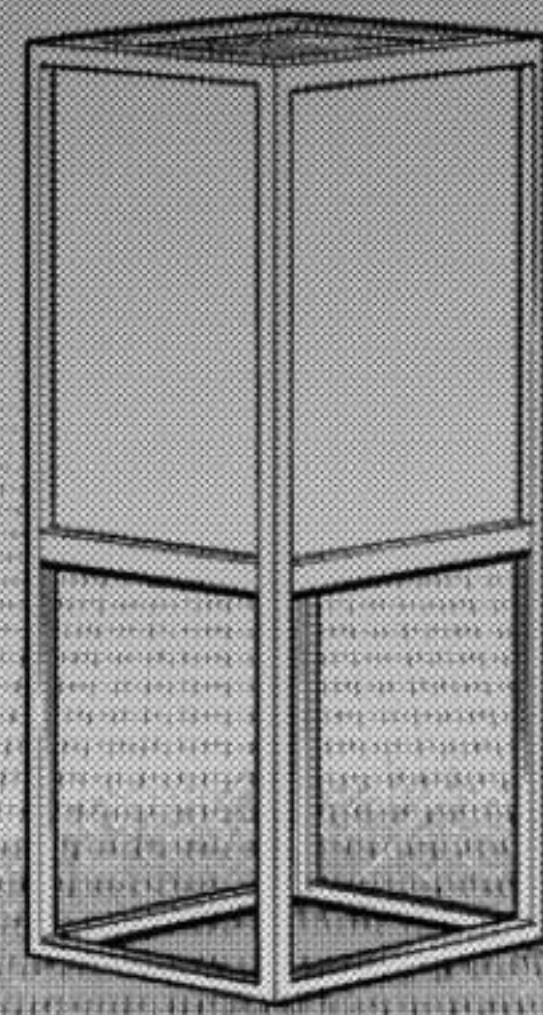


明日の訓練に
影響出すなよ

唐突に
優しくしたい
気分なんじや



分 分
か か
つ つ
ち ち
ゅ ゅ
う う











スケベじやのく
肥前のは

わしらが一番
相性いい格好は
どうやつたか
肥前の

ほうじやの

おまえが
そういうふうに
仕込んだんだろ

あつたかいの
肥前のは

陸奥守の
顔と体が
見下ろせて
奥の奥：まで
押し上げられ
ちまう







好きに
しろよお…っ

えすいかえ?

おまえ

アヤシ

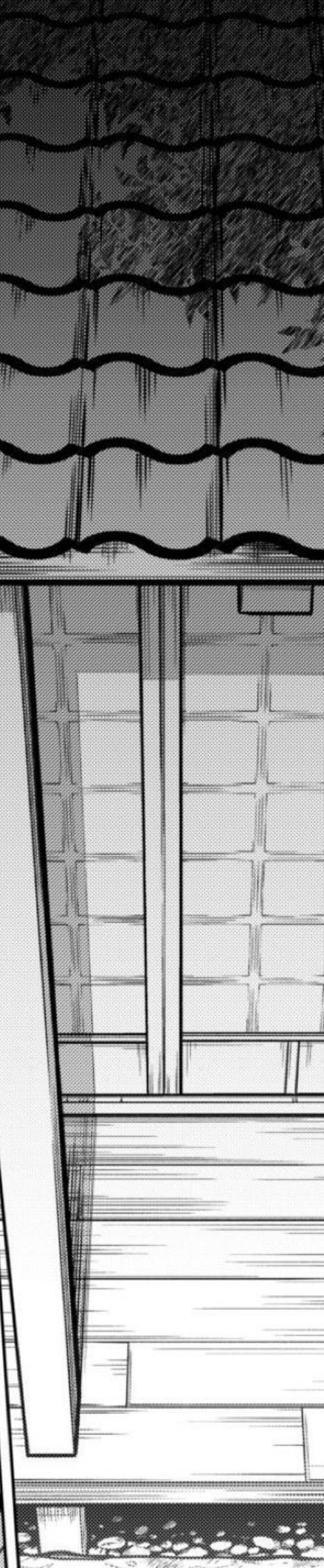




か
ば
ま
は
ま
と
い
す
つ
す
一















その日の朝の
ことだった

